

府中市における介護保険サービスの見込量

1 前提

- ・ 本資料は、国から配布された「保険料推計ワークシート」に基づき、第3期介護保険事業計画の介護サービス見込量を試算したものです。
- ・ 試算で得られた給付費は、保険料推計の基礎数字として用いています。
- ・ 現在、直近の給付実績に基づき、サービスの利用率や回数について精査を続けており、方向性を固めます。

2 基礎数値

(1) 被保険者数

- ・ 高齢者人口は、平成 11 年及び 16 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳の人口をもとに人口推計を行い、平成 26 年までの人口を求めています。

(2) 利用実績

- ・ 見込量作成に利用した利用人数、利用回数、給付費については、平成 15 年度、平成 16 年度（審査分）1 年間の実績の平均値を求めて用いています。平成 17 年度の実績は平成 17 年度上半期審査分から換算して用いています。

(3) 認定率（自然体）及び要介護認定者数

- ・ 認定率（自然体）は、平成 12 年度から平成 16 年度までの認定率の伸びをふまえ、平成 18 年度に 17.2%、平成 20 年度に 18.6%、平成 26 年度に 20.5%となるように設定しています。（〔参考〕都平均、平成 20 年度 18.2%、平成 26 年度 20.2%）
- ・ 介護予防の効果については、『介護予防に関する参酌標準』に沿って設定しています。

〔介護予防に関する参酌標準〕

○ 介護予防の実施

(1) 地域支援事業の実施

ア 実施対象者

新要支援・新要介護状態に陥るおそれのある者等（平成 20 年度以降に高齢者人口の 5% 程度（平成 18 年度・平成 19 年度については、おおむねその 8 割～9 割）に前年度の当該事業の実施により非該当にとどまる者を加えた人数）を対象として地域支援事業を実施

イ 実施効果

平成 20 年度実施分以降は、地域支援事業を実施した高齢者のうちの 20%（平成 18 年度実施分については 12%、平成 19 年度実施分については 16%）について、新要支援・新要介護状態となることを防止

(2) 新予防給付の実施

ア 実施対象者

自然体における新要支援 1 及び新要支援 2 の者の人数に前年度の当該給付の実施により新要支援・新要介護 1 にとどまる人数を加え、前年度の地域支援事業の実施により自立にとどまる者を減じた人数）を対象として、新予防給付を実施

イ 実施効果

平成 20 年度実施分以降は、新予防給付を利用するもののうちの 10%（平成 18 年度実施分については 6%、平成 19 年度実施分については 8%）について、要介護 2 以上への移行を防止

(4) 施設・居住系サービス

- ・ 平成 26 年度における要介護 2～5 に対する施設・介護専用居住系サービス利用者の割合が 37.0%以下となるよう設定しています。
- ・ 平成 26 年度における施設利用者に対する要介護 4～5 の割合が 70%以上になるよう設定しています。

(5) 居宅サービスの受給者率

- ・ 利用率は、平成 15 年度、平成 16 年度の実績に基づき、その割合が継続するものと設定しています。

■アンケート調査でのサービスの利用意向

		① 訪問介護（生活援助）	② 訪問介護（身体介護）	③ 訪問看護	④ 訪問リハビリテーション	⑤ 訪問入浴介護	⑥ 居宅療養管理指導	⑦ 通所介護	⑧ 通所リハビリテーション	⑨ 短期入所生活介護	⑩ 短期入所療養介護	⑪ 認知症対応型共同生活介護	⑫ 特定施設入所者生活介護	⑬ 福祉用具の貸与	⑭ 福祉用具購入費の支給	⑮ 住宅改修費の支給	⑯ 介護老人福祉施設	⑰ 介護老人保健施設	⑱ 介護療養型医療施設
全	体 (N=2,135)	32.4	16.4	9.0	10.7	10.6	3.6	25.2	10.7	16.4	6.7	2.8	3.9	24.0	20.2	16.0	11.4	8.0	8.4
要 介 護 度 別	要支援 (n= 363)	48.5	5.8	5.5	4.7	3.0	1.1	18.2	4.4	9.1	3.3	3.0	4.4	14.0	14.6	12.1	6.9	4.7	5.2
	要介護 1 (n= 755)	39.9	13.8	4.5	6.8	5.0	2.4	24.0	9.0	10.6	3.4	2.4	3.3	20.9	16.4	13.6	8.5	5.8	7.3
	要介護 2 (n= 348)	24.1	20.4	9.8	14.4	13.2	6.3	26.4	13.8	19.8	8.3	2.6	4.6	26.7	21.3	17.0	11.5	8.3	9.2
	要介護 3 (n= 239)	22.2	18.4	9.6	15.5	15.5	4.6	36.0	18.4	25.9	10.5	4.2	2.9	35.1	28.9	24.3	18.0	13.4	11.3
	要介護 4 (n= 195)	21.5	28.2	16.4	19.5	23.6	3.6	30.8	14.4	29.7	10.8	4.6	5.6	34.4	29.2	20.5	22.6	14.4	10.3
	要介護 5 (n= 150)	13.3	32.0	30.0	21.3	30.7	9.3	28.7	14.0	28.0	17.3	1.3	4.7	36.0	31.3	20.7	18.0	12.7	15.3
地 域 別	第一地区 (n= 420)	32.4	16.0	9.5	10.0	9.0	3.6	24.8	10.5	13.6	6.7	2.4	2.9	25.0	20.0	17.4	11.9	7.4	8.1
	第二地区 (n= 339)	33.0	13.9	7.1	8.8	9.7	2.7	24.8	7.4	12.4	5.3	2.9	4.4	22.7	18.6	14.7	9.1	4.7	7.1
	第三地区 (n= 434)	35.3	19.8	8.3	11.1	11.3	4.4	26.0	12.0	17.3	8.1	3.2	3.9	26.7	22.4	17.1	13.6	8.3	9.2
	第四地区 (n= 265)	30.6	16.2	7.5	10.9	9.4	3.0	23.4	12.1	15.5	5.7	2.6	4.9	21.5	21.1	14.3	10.6	10.9	10.2
	第五地区 (n= 285)	32.3	18.2	10.2	11.2	14.7	2.1	27.0	9.1	18.6	7.7	2.8	3.2	21.8	17.9	14.7	9.8	8.1	7.0
	第六地区 (n= 292)	32.5	15.4	11.6	13.0	11.3	5.1	28.1	14.0	23.6	6.8	2.7	4.5	27.7	24.3	18.5	15.1	10.6	9.6

3 主なサービスの見込み量

(1) 居宅サービス・介護予防サービス

① 訪問介護・介護予防訪問介護

<今後の見込み>

- ・ 在宅サービスの中核となるサービスとして順調に推移しており、今後も需要に見合った供給量を確保することとしてきました。地域密着型サービスとして夜間対応型訪問介護を見込んだため、訪問介護利用者の一部がそちらに移行することを想定しつつ、現状の利用率・利用回数を維持する方向で供給量を確保します。
- ・ 介護予防訪問介護の実施にあたっては、内容の適正化が図られるよう、事業者への指導とホームヘルパーへの研修支援を充実します。

図表 訪問介護・介護予防訪問介護の推計値

	実績			見込量			
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度
訪問介護・予防訪問介護 (単位:回/年)	①計画値	404,341	438,507	519,451			
	②実績値	301,489	329,172	344,634	296,485	310,154	341,581
	比率②/①	74.6%	75.1%	66.3%	76,879	83,661	88,392

注)平成17年度の実績値は平成17年上半年審査分を2倍して使用している。

② 訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

<今後の見込み>

- ・ 重度の方を中心に利用意向の高いサービスです。今後はそれらをふまえて、入浴が含まれる通所介護等のサービスとの調整を図り、継続して供給の見込みを行います。

<考えられる課題>

- ・ 他サービスと比べ介護報酬が割高であり、予防給付と介護給付の報酬バランスが検討課題となっています。報酬改定後も質の高いサービスが継続されるよう、支援を行います。

図表 訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護の推計値

	実績			見込量			
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度
訪問入浴介護・ 予防訪問入浴介護 (単位:回/年)	①計画値	6,402	7,148	8,035			
	②実績値	6,803	8,509	8,792	10,620	10,481	12,304
	比率②/①	106.3%	119.0%	109.4%	16	18	19

注)平成17年度の実績値は平成17年上半年審査分を2倍して使用している。

③ 訪問看護・介護予防訪問看護

<今後の見込み>

- ・ かかりつけ医の定着推進等により、利用回数も順調に伸びています。今後も、居宅療養管理指導との連携により回数の増があるものと考え、この伸びが継続するものと推計します。

<考えられる課題>

- ・ 他の保健系サービスとの連携を図るとともに、訪問看護職のより一層の確保を行います。

図表 訪問看護・介護予防訪問看護の推計値

	実績			見込量			
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度
訪問看護・予防訪問看護 (単位:回/年)	①計画値	18,028	19,677	21,567			
	②実績値	17,671	21,144	24,600			
	比率②/①	98.0%	107.5%	114.1%			
					[上段:訪問看護、下段:予防訪問看護]		
				26,733	27,123	30,632	
				1,412	1,537	1,624	

注)平成17年度の実績値は平成17年上半年審査分を2倍して使用している。

④ 居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導

<今後の見込み>

- ・ 医療機関とケアマネジャーとの連携促進が進められているなか、利用の伸びは横ばいです。今後は、かかりつけ医制度も定着することで回数が伸びるものと考えて見込みます。

<考えられる課題>

- ・ 他の保健系サービスとの連携を図るとともに、訪問看護職の確保を支援します。

図表 居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導の推計値

	実績			見込量			
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度
居宅療養管理指導・ 予防居宅療養管理指導 (単位:第2期 人/月、 第3期:回/年)	①計画値	468	553	664			
	②実績値	312	380	356			
	比率②/①	66.7%	68.7%	53.6%			
					[上段:居宅療養管理指導、下段:予防居宅療養管理指導]		
				4,460	4,529	5,108	
				491	535	565	

注)平成17年度の実績値は平成17年上半年審査分を2倍して使用している。

⑤ 通所介護・介護予防通所介護

<今後の見込み>

- ・ 今回の新・予防給付の中心となるサービスで、新しいプログラムが想定されています。利用率と利用回数については、予防・介護のバランスの中で軽度を中心にやや増える傾向も予想されており、予防を重視した伸びを見込んでいます。

<考えられる課題>

- ・ 地域密着型サービスの創設に伴い、認知症対応型通所介護に移行する事業所や新たに参入する事業所に対する適切な誘導策を検討するとともに、サービスを利用する方に PR を行い、理解を深めます。

図表 通所介護・介護予防通所介護の推計値

	実績			見込量			
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度
通所介護・予防通所介護 (単位:回/年)	①計画値	88,306	101,332	117,567			
	②実績値	84,577	92,288	104,598	79,917	83,504	90,041
	比率②/①	95.8%	91.1%	89.0%	16,335	17,808	18,849
				[上段:通所介護、下段:予防通所介護]			

注)平成17年度の実績値は平成17年上半年審査分を2倍して使用している。

⑥ 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

<今後の見込み>

- ・ 通所介護同様、新・予防給付の中心となるサービスで、新しいプログラムが想定されています。中・重度の方の利用が増えるものと考え、利用の見込みを行います。

<考えられる課題>

- ・ 他の保健系サービスとの連携を図るとともに、看護職の確保を支援します。

図表 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーションの推計値

	実績			見込量			
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度
通所リハビリテーション・ 予防通所リハビリテーション (単位:回/年)	①計画値	88,306	101,332	42,078			
	②実績値	84,577	92,288	34,808	35,856	37,525	40,412
	比率②/①	95.8%	91.1%	82.7%	1,313	1,434	1,517
				[上段:通所リハビリテーション、下段:予防通所リハビリテーション]			

注)平成17年度の実績値は平成17年上半年審査分を2倍して使用している。

⑦ 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

<今後の見込み>

- ・ 利用意向が比較的高いサービスですが、アンケート調査では、不満や意向を聞いてもらえない、担当者がよく変わるなどの意見が多くみられました。
- ・ 今後は現状を維持しつつ、制度見直しに伴う高齢者虐待への対応、日帰りショートステイ等の創設なども視野に入れた見込み量の設定を行います。

<考えられる課題>

- ・ 今後は制度見直しに従って、事業者と市とが連携した緊急ニーズを調整する窓口設置を行っていきます。

図表 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護の推計値

	実績			見込量			
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度
短期入所生活介護・ 予防短期入所生活介護 (単位:日/年) ※ 第2期計画値は生活・療養の合計	①計画値	40,041	44,211	49,082			
	②実績値	38,563	43,197	43,796			
	比率②/①	96.3%	97.7%	89.2%			
					39,180	40,191	44,398
				197	214	226	

注)平成17年度の実績値は平成17年上半年審査分を2倍して使用している。

⑧ 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

<今後の見込み>

- ・ 引き続き、医療ニーズが高い利用者が増えることを考えられます。

<考えられる課題>

- ・ 短期入所生活介護同様、今後は制度見直しに従って、事業者と市とが連携した緊急ニーズを調整する窓口設置を行っていきます。

図表 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護の推計値

	実績			見込量			
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度
短期入所療養介護・ 予防短期入所療養介護 (単位:日/年) ※ 第2期計画値は生活・療養の合計	①計画値	40,041	44,211	49,082			
	②実績値	38,563	43,197	43,796			
	比率②/①	96.3%	97.7%	89.2%			
					15,046	15,265	17,150
				33	36	38	

注)平成17年度の実績値は平成17年上半年審査分を2倍して使用している。

⑨ 特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

<今後の見込み>

- ・ ここ数年で市内および近隣地域に事業所が増加し利用人数も急激に増加しています。
- ・ 見込量については平成 20 年度に府中市の高齢者人口の 0.23%（東京都平均 0.24%）となるよう設定しています。しかし、平成 17 年度の実績見込値が非常に大きいため、改めて見込量については精査を続けます。

<考えられる課題>

- ・ 介護専用型、介護専用型以外の施設の見込みを明らかにします。
- ・ 地域密着型サービスとして 1 施設分を見込んでいます。広域型サービスとのバランスを考慮に入れて検討を続けます。

図表 特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護の推計値

	実績			見込量							
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度				
特定施設入居者生活介護・ 予防特定施設入居者生活介護 (単位:人/月)	①計画値	107	111	115	[上段:特定施設入所者生活介護、下段:予防特定施設入所者生活介護]	124	152	187			
	②実績値	75	121	202							
	比率②/①	70.1%	109.0%	175.7%					10	12	12

注)平成17年度の実績値は平成17年度上半期審査分を月当たり換算して使用している。

平成18年度以降は介護専用型の特定施設の見込数である。介護専用型特定施設は特定施設全体の4割程度を想定して推計している。

(2) 介護保険施設サービス

① 介護老人福祉施設

<今後の見込み>

- ・ 広域型介護老人福祉施設の利用人数については現在の伸びが続き、入所者には重度の方が増える方向で見込みました。食費・居住費の徴収開始については見込量に大きな影響はないものと考えます。

<考えられる課題>

- ・ 地域密着型サービスとして小規模介護老人福祉施設を 1 箇所見込んでいます。広域型サービスから地域密着型サービスへの移行の見込が必要です。
- ・ ユニット型・個室化についてもあわせて事業者とともに検討をする必要があります。

図表 介護老人福祉施設・介護予防介護老人福祉施設の推計値

	実績			見込量				
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
介護老人福祉施設 (単位:人/月)実績=月平均	①計画値	549	564	579	介護老人福祉施設	603	617	633
	②実績値	567	572	579				
	比率②/①	103.3%	101.4%	100.0%				

注)平成17年度の実績値は平成17年度上半期審査分を月当たり換算して使用している。

② 介護老人保健施設

<今後の見込み>

- ・ 広域型施設の利用人数については介護老人福祉施設同様、現在の伸びが続き、入所者には重度の方が増える方向で見込みました。これも食費・居住費の徴収開始については見込量に大きな影響はないものと考えます。

<考えられる課題>

- ・ ユニット型・個室化についてもあわせて事業者とともに検討をする必要があります。
- ・ 引き続き、在宅復帰に向けてのリハビリテーション施設であることから、施設の目的に見合う役割、体制づくりに務めます。

図表 介護老人保健施設・介護予防介護老人保健施設の推計値

介護老人保健施設 (単位:人/月)実績=月平均	実績			見込量			
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	①計画値	282	290	298	介護老人保健施設		
②実績値	258	274	293	306	312	322	
比率②/①	91.5%	94.5%	98.3%				

注)平成17年度の実績値は平成17年度上半期審査分を月当たり換算して使用している。

③ 介護療養型医療施設

<今後の見込み>

- ・ 今後3年間で市内及び近隣には新たな整備計画がないため、広域型施設の利用人数は現在の伸びが続き、入所者には重度の方が増える方向での見込みを行いました。食費・居住費の徴収開始については見込量に大きな影響はないものと考えます。

<考えられる課題>

- ・ ユニット型・個室化についてもあわせて事業者とともに検討をする必要があります。
- ・ 引き続き、基盤整備の確保を都に要請します。

図表 介護療養型医療施設の推計値

介護療養型医療施設 (単位:人/月)実績=月平均	実績			見込量			
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	①計画値	212	220	228	介護療養型医療施設		
②実績値	179	191	183	197	207	210	
比率②/①	84.4%	86.8%	80.3%				

注)平成17年度の実績値は平成17年度上半期審査分を月当たり換算して使用している。

(3) 地域密着型サービス・地域密着型介護予防サービス

① 認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護

<今後の見込み>

- ・ 地域密着型サービスとして、従来の利用者の伸びとあわせ、新たな整備計画での見込みを行っています。平成17年度中に2ユニット増えるほか、整備計画として平成18年度に1ユニットを計画しています。

<考えられる課題>

- ・ 今後は事業者の参入意向を調整し、整備計画を具体化します。

図表 認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護の推計値

	実績			見込量			
		平成15年度 (実績)	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度	平成19年度	平成20年度
認知症対応型共同生活介護・ 予防認知症対応型共同生活介護 (単位:人/月)	①計画値	26	27	28	55	75	95
	②実績値	11	16	26			
	比率②/①	42.3%	59.3%	92.9%	5	6	7

注)平成17年度の実績値は平成17年度上半期審査分を月当たりに換算して使用している。

② 夜間対応型訪問介護

<今後の見込み>

- ・ 夜間対応型訪問介護事業者が1箇所参入があるものとします。利用回数は要介護度に応じて週4～8回程度とし、訪問介護の夜間早朝利用者の一部が利用すると想定し、月あたり20人程度の利用を見込んでいます

<考えられる課題>

- ・ 平成18年度の円滑な開始に向けて、事業者の参入意向を確認し、事業形態や体制などの具体的な調整を行います。

図表 夜間対応型訪問介護の推計値

	見込量		
	平成18年度	平成19年度	平成20年度
夜間対応型訪問介護・ (単位:回/年)	1,099	1,146	1,244

③ 認知症対応型通所介護

<今後の見込み>

- ・ 現行の小規模認知症専用通所介護事業所が移行するとともに、新規参入事業所があるものと考え、3年間で4事業所程度（1事業所定員10人程度）を見込みます。

<考えられる課題>

- ・ 地域密着型サービスへの円滑な移行と事業者の参入意向の調整を行い、サービスを着実にスタートさせます。また、利用者のPRを行います。

図表 認知症対応型通所介護の推計値

	見込量		
	平成18年度	平成19年度	平成20年度
認知症対応型通所介護・ 予防認知症対応型通所介護 (単位:回/年)	[上段: 認知症対応型通所介護、下段: 予防認知症対応型通所]		
	1,099	1,146	1,244
	164	178	189

④ 小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

<今後の見込み>

- ・ 現行の通所介護事業所と新規参入事業所の両方の参入を視野に入れ、3年間で2施設（定員25人程度）の見込みを行っています。

<考えられる課題>

- ・ 地域密着型サービスへの円滑な移行と事業者の参入意向の調整を行い、サービスを着実にスタートさせます。また、利用者のPRを行います。

図表 小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護の推計値

	見込量		
	平成18年度	平成19年度	平成20年度
小規模多機能型居宅介護・ 予防小規模多機能型居宅介護 (単位:回/年)	[上段: 小規模多機能型居宅介護、下段: 予防小規模多機能型]		
	1,099	1,146	1,244
	164	178	189

⑤ 地域密着型介護老人福祉施設

<今後の見込み>

- ・ 試行的に平成 20 年度までに 1 施設（定員 20 人）を見込みます。

<考えられる課題>

- ・ サテライト方式での施設とするか施設を具体化します。それらとあわせ、個室化・ユニット化の検討に向けて、事業者と調整します。

⑥ 地域密着型介護専用型特定施設

<今後の見込み>

- ・ 試行的に平成 20 年度までに 1 施設（定員 20 人）を見込みます。

<考えられる課題>

- ・ 新規参入意向のある事業者との調整で、具体化します。